

令和 2 年度
第 3 回 柏市生涯学習推進協議会

会 議 資 料

令和 3 年 2 月 1 8 日

柏市生涯学習推進協議会 委員名簿

※敬称略，五十音順

	氏 名	職 等
会 長	いけざわ まさこ 池沢 政子	開智国際大学名誉教授
	いわさき まさお 岩崎 雅夫	さわやかちば県民プラザ所長
	うえの ひろみ 上野 妃呂美	元柏市立保育園父母の会連合会長
副会長	しみず まさふみ 清水 雅文	社会保険労務士 キャリアコンサルタント
	すえたけ ま ゆ み 末武 真由美	千葉県立柏特別支援学校教諭 特別支援教育コーディネーター
	たかはし ふみなり 高橋 史成	柏市社会福祉協議会地域福祉課長
	つねの まさとし 常野 正紀	多世代交流型コミュニティ実行委員 会代表
	なみき たかき 並木 孝樹	柏市立光ヶ丘小学校長
	ねもと としはる 根本 利治	柏市ふるさと協議会連合会長
	まきの あつし 牧野 篤	東京大学大学院教授
	まつどみ ゆ み こ 松富 由美子	「みんなの子育て広場」支援コーデ イナー
	みよし れいこ 三好 玲子	かしわ子育てまちづくりネットワー ク・ここっと代表

任期：令和元年6月1日から令和3年5月31日まで

（末武委員については、令和元年8月1日、岩崎委員・松富委員については、令和2年6月1日から）

柏市生涯学習推進協議会 出席職員名簿

所 属	職 名	氏 名
生涯学習部	部長	みやじま こうじ 宮島 浩二
生涯学習課	課長	おきもと まさき 沖本 雅樹
	統括リーダー	わたなべ まさえ 渡邊 雅恵
	副主幹	やまもと さとこ 山本 郷子
	主査	おおた ますみ 太田 真澄
	生涯学習専門アドバイザー（生涯学習分野）	はえぬき ひろたか 萌抜 博孝
		ば ば ひでき 馬場 秀樹
いわぶち ひろみ 岩渕 弘美		
教育総務課	課長	いしだ きよし 石田 清
中央公民館	館長	やまおか やすひろ 山岡 康宏
図書館	館長	はしもと けんいちろう 橋本 賢一郎

次 第

【議事・報告事項】

1	前回の協議会の振り返り	1
2	パブリックコメントの実施等について	2
3	議事	3
4	今後のスケジュールについて	6

【添付資料】

- ・ 第4次柏市生涯学習推進計画案
- ・ (概要版) 第4次柏市生涯学習推進計画案
- ・ 進捗管理表 (主な事業分・参考資料)

1 前回の協議会の振り返り

第4次柏市生涯学習推進計画のパブリックコメント案についてご意見をいただきました。

	計画案へのご意見	計画案への加筆／事務局の対応等
1	<p>生涯学習を通じたまちづくりといったことが、あちこちで言われ教育委員会と一般行政の垣根はなくなりつつある。厚生労働省では地域共生社会、国土交通省では地域防災など。</p> <p>社会教育や生涯学習の形で住民が自ら学びながら自分たちでまちづくりをしていくという仕組みを作り、それに福祉や防災等が乗ってくるのが望ましい。これができるのは学校に関われる教育委員会だろう。</p> <p>大人も子供も一緒に地域社会が色々なものを引き受けるという意味であり、これこそがコミュニティ・スクールだという考え方で、生涯学習推進計画だけでなく柏市の計画が作られると素晴らしいと思う。</p>	<p>P8生涯学習振興行政イメージ図では、以前より拡大した概念を表現し、意識づけたいと考えます</p> <p>施策体系表には一般行政分野の事業も多くあり、実務部会で意識の共有を図ります</p> <p>コミュニティ・スクールは主に教育振興計画に掲載されるが、今後の教育委員会としての計画の作り方を検討します</p>
2	<p>P18の「すべての人が学べる環境に包まれるように」で、重要な行政連携の取組が書き込まれたのはよい。具体的に動いていくことを期待する。</p>	<p>具体化できるよう進めていきます</p>
3	<p>コラムという、エッセイが短くなったような、ためになる読み物をイメージする。これだとピックアップとか、補足の方が良いのではないか。</p> <p>エピソードのようなものが入る形になると良いのではないか。</p>	<p>「コラム」から、計画における役割に沿った名称に変更しました</p>
4	<p>元気な高齢者で時間がある人に色々な活動をしてもらうことで、地域の子どもたちが幸せに、かつ地域が良くなるという形あるものを入れて欲しい。</p> <p>大胆にこれで困っている、誰か来てくれという話が具体的につながる形が必要。</p>	<p>「はじめるきっかけ」にあるフレイル予防ポイント等の事業で、高齢者の方の楽しさから始める活動を推進します</p> <p>コミュニティ・スクール等も通じて話し合いを進めます</p>
5	<p>核家族化や家庭の多様化に伴い、家庭に色々なことを負わせるのは不可能だから地域社会で子育てをとという考え方がある。</p> <p>一方で、教育の原点が家庭教育にあるという認識もある。本計画の中での扱いは大きくないがどうか。</p>	<p>目指す方向性で「子どもたちが健やかに成長するように」を挙げ福祉・教育両面で重要なテーマと位置付けました</p> <p>教育委員会全体としては大きな教育の視点で進めます</p>
6	<p>P18「すべての人が学べる環境に包まれるように」で障害の有無に関わらずという書き込みがあり、障害者も含めて当事者とした、きっかけから始まる循環が生まれると良いと思う。</p>	<p>障害福祉部門と連携してまいります</p>
7	<p>今回計画に入った「フレイル」は比較的新しい言葉だが、柏市はフレイル予防を東大連携でかなり推進している。生涯学習と連動するキーワードである。</p> <p>福祉はボランティア精神だけでは支えきれず、広がりを持たせるのに楽しさややりがいが必要。生涯学習から入って、気づいたらという風に社会課題に関わって欲しい。</p>	<p>福祉部門と連携してまいります</p>

8	IOTとかフレイルといった言葉に注釈をつけてはどうか。	注釈をつけて工夫しました
9	計画の評価も難しい問題である。 最近ではPDCAをやめようという話も出ている。無理に数字で評価しようとする、達成しようとしてプランが小さくなり失敗する。 AAR(Anticipation Action Reflection)という考え方がある。 ちょっと良いことを考えてやってみて、振り返る、評価はしない。うまくいかなかったなら今度はこれをやってみるという感じである。こういった方向でやってみてはどうか。	実務部会で、計画開始前に事業ごとの目標を設定しました 同時にステップごとの評価方法について各部門の共通理解を図りました 無理に数字を設定する評価は避けつつ、中間評価と達成度評価は行う予定です
10	生涯学習像で、笑顔と元気が広がるまちを目指すとする。 目指すなら予算投下もしてもらいたい。	進めてまいります

2 パブリックコメントの実施等について

(1) 第4次柏市生涯学習推進計画案について、意見募集(パブリックコメント)を実施しました。

募集期間 令和2年12月16日(水)～令和3年1月15日(金)

閲覧方法 市ホームページ、市内近隣センター等に配架

募集結果 1名の方から2件のご意見をいただきました。

パブリックコメントのご意見と修正点等

	ご意見の概要	市の回答・対応
1	アンケート結果のグラフに付された数字の標記の意味が不明である。注釈を入れるべきではないか。	分かりやすいグラフになるよう改善いたします。
2	標記のゆれではないかと思う表現が散見されるので、統一してはどうか。	表現について確認し、適切に対応いたします。

(2) 令和2年12月24日柏市教育委員会議の勉強会において、策定中の計画案について説明し、2名の委員からご意見をいただきました。

教育委員勉強会のご意見と修正点等

	ご意見の概要	市の回答・対応
1	新型コロナウイルス感染症等の事態が発生しても対応していける計画が望まれる。その点について触れたらどうか。	「はじめに」で触れ、「ピックアップ」でコロナに対応した新しい取組を取り上げています。⇒「計画の推進・評価体制」でコロナへの対応を踏まえた内容に修正しました。
2	生涯学習に「きっかけ」は大事だと思う。リニューアルした教育福祉会館の利活用と合わせ、工夫して進めて欲しい。	ご意見ありがとうございます。関係課と連携して進めてまいります。

3 議事

以下のア、イ、ウの3点の議事について資料を添付し提案いたします。
内容についての書面審議をお願いいたします。

ア 第4次柏市生涯学習推進計画案について

第2回協議会での皆様のご意見及びパブリックコメント等の結果を踏まえ、第4次柏市生涯学習推進計画案を作成しました。

- ・第4次柏市生涯学習推進計画（案）【資料①】

イ 概要版・第4次柏市生涯学習推進計画について

本計画を広く周知するため、市民向けの概要版を作成しました。

- ・【概要版】第4次柏市生涯学習推進計画（案）【資料②】

ウ 計画の推進・評価体制

本計画の推進・評価体制方針を決定しました。

本計画の推進にあたっては、新型コロナウイルス感染症の影響による社会情勢の変化への対応が求められます。

そこで、進捗管理においては事業ごとに年次計画を設定する一方、設定した計画の進捗のみに捉われず、不確実な状況に対応した新たな取組や行政連携等の取組を

評価する仕組みを取り入れます。

このことにより、中間年度及び最終年度に向けて、本計画全体で「目指す方向性」の実現に向けて推進してまいります。

・第4次柏市生涯学習推進計画 進捗管理表（主な事業）【参考資料】

計画の推進・評価体制

(1) 5か年の進捗管理について

各事業ごとの評価

- ・主な事業について1～2つの「指標」及び「目標」を設定し、進捗管理を行う。
- ・中間評価では、全事業について施策体系上の位置付け及び目標値等の確認・修正を行う。

各ステップごとの評価

- ・事業数の増減及び事業間連携の取組の有無を評価する。

(2) 進捗管理表

進捗管理（主な事業について毎年実施）

附属機関等に意見を聞きながら推進。

事業名	放課後子ども教室		担当課	生涯学習課
事業概要	地域ボランティア等の参画による小学校の余裕教室を活用した放課後の学習支援等を行う他、夏休み中は学校や企業等との連携による体験講座を実施			
計画への位置付け	D・E・F・G	主な事業の位置付け	「もっと知りたい、つながりたい」を支援	
「もっと知りたいつながりたい」への効果	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生の放課後活動の支援に継続的に関わることで学校との連携につながる ・学習支援をするボランティアは、活動を通して子どもとの関わり方に対する興味が広がる 			
連携・関連事業	(例) 地域学校協働活動ほか			
今年度の取組	(例) 子ども達の学ぶ意欲と学ぶ習慣の定着を図る学習会に加え、好奇心を引き出すプログラムを工夫して実施した。			
今年度の変更	有り	理由・効果	(例) 新型コロナウイルス対策のため、規模を縮小して実施	
進捗状況 (数値が適さない場合は説明も可)	指 標	基 準	目標 (R7年度)	実績 (R3年度)
	参加児童数 (延べ)	45,000人	56,000人	〇〇〇人
	参加ボランティア数 (延べ)	8,000人	10,000人	〇〇〇人
総合評価	B	評価の理由	(例) コロナ禍で一定程度の成果を上げたが、次年度以降の取組方に大幅な検討が必要なため	

中間評価（全ての事業について実施）

附属機関等に意見を聞きながら推進。

主な事業版

事業名	放課後子ども教室		担当課	生涯学習課
事業概要	地域ボランティア等の参画による小学校の余裕教室を活用した放課後の学習支援等を行う他、夏休み中は学校や企業等との連携による体験講座を実施			
計画への位置付け	D・E・F・G	主な事業の位置付け	「もっと知りたい、つながりたい」を支援	
「もっと知りたいつながりたい」に関する効果	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生の放課後活動の支援に継続的に関わることで学校との連携につながる ・学習支援をするボランティアは、活動を通して子どもとの関わり方に対する興味が広がる 			
連携・関連事業	(例) 地域学校協働活動ほか			
今年度の取組	(例) 子ども達の学ぶ意欲と学ぶ習慣の定着を図る学習会に加え、好奇心を引き出すプログラムを工夫して実施した。			
今年度の変更	有り	理由・効果	(例) 新型コロナウイルス対策のため、規模を縮小して実施	
進捗状況 (数値が適さない場合は説明も可)	指 標	基 準	目標 (R7年度)	実績 (R5年度)
	参加児童数 (延べ)	45,000人	56,000人	〇〇〇人
	参加ボランティア数 (延べ)	8,000人	10,000人	〇〇〇人
総合評価	B	評価の理由	コロナ禍で一定程度の成果を上げたが、次年度以降の取組方に大幅な検討が必要なため	
連携の具体的取組	〇〇〇〇〇			
R3～5年度の取組	(例) 子ども達の学ぶ意欲と学ぶ習慣の定着を図る学習会に加え、好奇心を引き出すプログラムを工夫して実施した			
R3年度以降の変更	有り	理由・効果	(例) 新型コロナウイルス対策のため、夏休み子ども教室をオンライン実施と両面に拡大	
計画への位置付け 変更の必要性	有り	具体的内容	(例) はじめるきっかけにも位置付ける オンライン化で現地ボランティアの数が減る一方、新たな参入のきっかけになるため	

その他全ての事業版

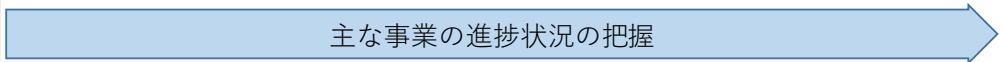
事業名	放課後子ども教室		担当課	生涯学習課
事業概要	地域ボランティア等の参画による小学校の余裕教室を活用した放課後の学習支援等を行う他、夏休み中は学校や企業等との連携による体験講座を実施			
計画への位置付け	D・E・F・G			
連携・関連事業	(例) 地域学校協働活動ほか			
連携の具体的取組	〇〇〇〇〇			
R3～5年度の取組	(例) 子ども達の学ぶ意欲と学ぶ習慣の定着を図る学習会に加え、好奇心を引き出すプログラムを工夫して実施した			
R3年度以降の変更	有り	理由・効果	(例) 新型コロナウイルス対策のため、夏休み子ども教室をオンライン実施と両面に拡大	
計画への位置付け 変更の必要性	有り	具体的内容	(例) はじめるきっかけにも位置付ける オンライン化で現地ボランティアの数が減る一方、新たな参入のきっかけになるため	

最終年度の達成度評価

①主な事業の進捗状況、連携の取組状況

②各ステップごとの進捗状況（事業数の増減、連携の取組状況）

上記2点を踏まえ、本計画の目指す方向性（子ども・コミュニティ・環境整備）の観点から総合的に評価し、次期計画につなぐ。

はじめるきっかけを支援					
概要	◆あらゆる世代が参加できる様々な学びの提供（アプローチA） ◆障害の有無、言語や時間・経済的制約に関わらず、共に学ぶ環境の充実（アプローチB）				
取組	計画開始当初事業数 A：12事業 B：4事業、検討中：1事業 目指す方向性：事業数の増加、各事業間の連携の取組増加				
工程表	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
					
			中間評価 全事業の検討		達成度評価

4 今後のスケジュールについて

今後のスケジュールは以下のとおりとなります。

・第4次柏市生涯学習推進計画の策定 3月中旬頃

本協議会で提案した計画最終案の承認を経て、計画策定へ進みます。

・第4次柏市生涯学習推進計画の配付 3月下旬頃

市内部 80部

附属機関等 93部

市議会関係 108部

外部（社会福祉協議会、社会教育施設等） 24部（いずれも概数）